

# JIS

## オゾンに対する染色堅ろう度試験方法

JIS L 0890 : 2006

(SWTF/JSA)

平成 18 年 12 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 消費生活技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	小 川 昭二郎	お茶の水女子大学
(委員)	赤 松 幹 之	独立行政法人産業技術総合研究所
	秋 庭 悦 子	社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
	大 熊 志津江	文化女子大学
	岡 田 宏	社団法人繊維評価技術協議会
	長 見 萬里野	財団法人日本消費者協会
	加 藤 さゆり	全国地域婦人団体連絡協議会
	加 藤 隆 三	社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	蔵 本 一 也	社団法人消費者関連専門家会議
	小 熊 誠 次	社団法人日本オフィス家具協会
	三 枝 繁 雄	財団法人製品安全協会
	櫻 橋 晴 雄	社団法人日本ガス石油機器工業会
	佐 野 真理子	主婦連合会
	沼 尻 禎 二	財団法人家電製品協会
	長谷川 政 章	株式会社西友
	星 川 安 之	財団法人共用品推進機構
	村 田 政 光	財団法人日本文化用品安全試験所
	矢 野 友三郎	独立行政法人製品評価技術基盤機構
(専門委員)	村 井 陸	財団法人日本規格協会

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 18.12.20

官 報 公 示：平成 18.12.20

原 案 作 成 者：財団法人スガウエザリング技術振興財団

(〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-4-14 TEL 03-3354-5248)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：消費生活技術専門委員会 (委員長 小川 昭二郎)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット環境生活標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、財団法人スガウエザリング技術振興財団 (SWTF)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

制定に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO 105-G03:1993, Textiles—Tests for colour fastness—Part G03 : Colour fastness to ozone in the atmosphere** を基礎として用いた。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に係る確認について、責任はもたない。

**JIS L 0890** には、次に示す附属書がある。

附属書 (参考) **JIS** と対応する国際規格との対比表

## 目 次

	ページ
序文.....	1
1. 適用範囲.....	1
2. 引用規格.....	1
3. 要旨.....	1
4. 試験の種類.....	1
5. 装置及び材料.....	2
5.1 試験装置.....	2
5.2 オゾン標準染布.....	2
5.3 変退色用グレースケール.....	2
5.4 測色計.....	2
6. 試験片.....	3
7. 操作.....	3
8. 判定方法.....	3
9. 記録.....	3
附属書（参考）JIS に対応する国際規格との対比表.....	8
解 説.....	12

# オゾンに対する染色堅ろう度試験方法

## Test methods for colour fastness to ozone

**序文** この規格は、1993年に第1版として発行された **ISO 105-G03, Textiles—Tests for colour fastness—Part G03 : Colour fastness to ozone in the atmosphere** 及び技術的実験研究を基に作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、原国際規格を変更している事項である。変更の一覧表をその説明を付けて、**附属書 (参考)** に示す。

**1. 適用範囲** この規格は、染色した繊維製品のオゾンに対する染色堅ろう度試験方法について規定する。

**備考** この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、**ISO/IEC Guide 21**に基づき、IDT (一致している)、MOD (修正している)、NEQ (同等でない) とする。

**ISO 105-G03:1993, Textiles—Tests for colour fastness—Part G03 : Colour fastness to ozone in the atmosphere(MOD)**

**2. 引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版 (追補を含む。) を適用する。

**JIS L 0801** 染色堅ろう度試験方法通則

**備考** **ISO 105-A01:1994 Textiles—Tests for colour fastness—Part A01 : General principles of testing** からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

**JIS L 0803** 染色堅ろう度試験用添付白布

**備考** **ISO 105-F:1985 Textiles—Tests for colour fastness—Part F : Standard adjacent fabrics** からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

**JIS L 0804** 変退色用グレースケール

**備考** **ISO 105-A02:1993 Textiles—Tests for colour fastness—Part A02 : Grey scale for assessing change in colour** からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

**JIS L 0809** 計器による変退色及び汚染の判定方法

**3. 要旨** 低湿条件 (30 °C±5 °C・相対湿度 65 %以下)、又は高湿条件 [40 °C±5 °C・相対湿度(85±5)%] の雰囲気中、試験片だけ、又は試験片とオゾン標準染布とを併用し、規定のオゾン濃度で規定時間暴露する。暴露後、それぞれ試験片だけ又は試験片とオゾン標準染布とを、変退色用グレースケールと比較するか、又は測色計によって変退色等級を求め、オゾン堅ろう度を判定する。

**4. 試験の種類** 試験の種類は、**表 1** の 2 種類とし、要求される相対湿度条件に応じて選択する。